

乳腺腫瘍について

乳腺にできる悪性腫瘍の中で最も多い病気が乳がんです。日本における乳がんの発生数は年々増加しており、近年の日本人女性の悪性腫瘍のなかでも最も頻度の高いものとなっています。乳がんの治療法の進化は著しいですが、それでもなお標準的な治療に抵抗性を示すタイプのがんがあることが知られています。乳がんができる仕組みについてもよく分かっていないことが多く、さらなる研究が必要とされています。私たちは、新しい乳がんの仕組みを明らかにすることで、その仕組みを利用した新しいがんの診断方法を開発したり、その仕組みを標的にした新しい治療法を開発することを目指して、日々研究をしています。

研究内容

私達は、下記のようにヒトゲノム・遺伝子解析研究を実施しております。本研究は京都大学医の倫理委員会の承認を得た上で、個人情報进行特定できない形で既存の病理標本や血液サンプルなど（試料）からの解析や過去のカルテ等からの情報収集を行っております。しかし、患者さんがご自分の試料・情報を使用して欲しくない場合は、これを拒否することも可能です。

「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」第5＜試料・情報の取扱い等＞に基づいております。

・研究計画名

「固形腫瘍における遺伝子異常の網羅的解析」

「乳がん微小環境形成に関わる分子生物学的機序の生体試料を用いた探索研究」

（詳細については[京都大学乳腺外科ホームページ](#)をご参照ください）

・研究の意義・目的

がんに生じた遺伝子の異常を調べることでがんの治療成績の向上を目的とします。

・研究対象

乳がん、その他の乳腺腫瘍

乳腺組織(手術もしくは臨床検査で採取・保存された組織)

- 研究の方法

1990 年以降に診断された上記研究対象の既存の病理標本から DNA を抽出し遺伝子解析を行います。また、臨床情報を診療録から収集し、臨床経過を調べます。

- 個人情報保護について

個人情報(個人が特定できるような情報)は厚生労働省の指針に従い厳重に管理します。研究機関外に提出するデータには氏名、参加施設などの個人情報は収集されず、本研究固有の症例番号により連結可能匿名化を実施します。

- 参加施設

京都大学、北野病院、日本赤十字社大阪赤十字病院、三菱京都病院、沢井記念乳腺クリニック、大和郡山病院、枚方公済病院、神鋼病院、京都市立病院、関西電力病院、神戸市立医療センター中央市民病院、大和高田市立病院、呉医療センター・中国がんセンター、市立長浜病院、彦根市立病院、日本赤十字社和歌山医療センター、滋賀県立成人病センター、兵庫県立塚口病院、福井赤十字病院、天理よろづ相談所病院、菅典道クリニック、京都医療センター、公立甲賀病院、関西医科大学附属枚方病院、大津市民病院、高島市民病院、大津赤十字病院、国立病院機構大阪医療センター、洛和会音羽病院、京都桂病院乳腺科、京都民医連中央病院

- 参加拒否の自由

参加拒否は自由であり、随時参加の撤回が可能です。それにより不当な医療上の不利益は発生しません。参加拒否をご希望される場合は、下記にご連絡ください。

- 研究責任者

京都大学 腫瘍生物学講座 教授 小川誠司

- 本研究に関する問い合わせ

京都大学大学院 医学研究科 腫瘍生物学
京都府京都市左京区吉田近衛町
075-753-9285